



MADパフォーマンスのデバッグ

ドロップや不具合が発生した場合は、まず、コンピュータが DPC Latency の影響を受けていないかどうかを確認してください。Windowsも適切に構成されている必要があります。Windows構成ガイドを参照してください。

MAD Debug Mode

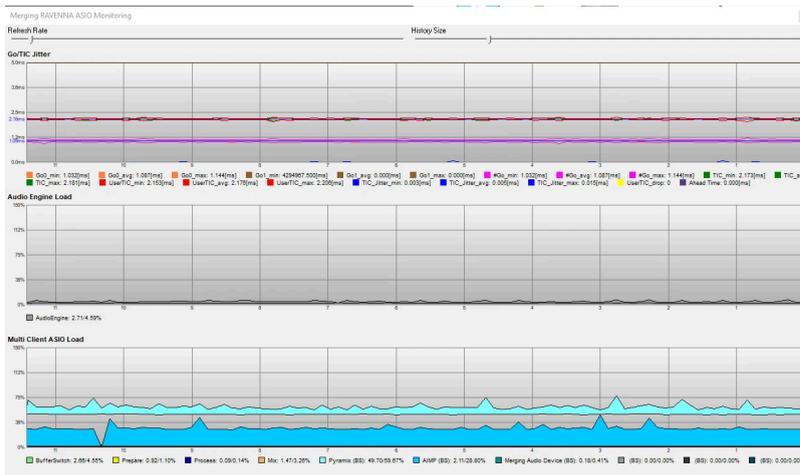
[MAD Debug Zip file](#) をダウンロードして解凍後、MAD-DebugEnable.reg をダブルクリックしてください。再起動後、MADパネルに新しいアイコンが2つ表示されます。

手順

1. パネルの一番下にあるアイコンをクリックするとグラフが表示されます。

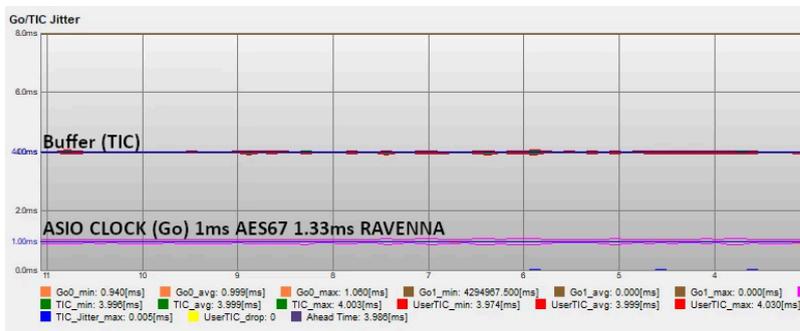


ディスプレイにフィットするようにリサイズしてください。



2. Go/TC Jitter グラフ

このグラフは ASIO クロックを表示しており、安定しているはずですが。



ASIO CLOCK(Go) は、1.0ms(AES67) または 1.33ms(Ravenna) に近いはずですが。



バッファ タイミング (TIC) は、MAD で設定したバッファサイズにより変化します。例: AES67 で Buffer を 48 に設定している場合は 1ms: Buffer を 96 に設定している場合は 2ms: Buffer を 192 に設定している場合は 4ms...

Ahead Time は Input にリンクしており、入力が接続されている場合にのみ値が表示されます。少なくとも1つの入力が接続されている場合は、TICと同じになります。

このグラフに問題が表示される場合は、イーサネット アダプタからデバイスまでのネットワークの設定とパス全体(ケーブルやネットワーク スイッチを含む)を確認してください。

3. Audio Engine load

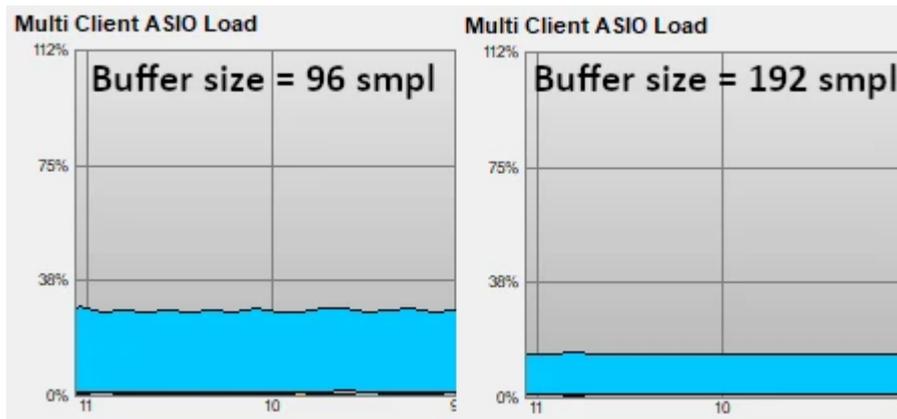
Audio Engine load は オーディオ フレーム内のドライバーのアクティビティを表しています。MAP パネルで、Mix Safe モードが Disable になっていない場合以外、とても低いはずですが。

このグラフで問題が表示される場合、MAD パネルで Mix safe mode オプションを Enable に設定してください。

4. MultiClient ASIO Load

実行中の各アプリケーションに必要なさまざまな負荷と、その他の MAD 内部プロセス(バッファ スイッチ、準備、プロセス、ミックス)を表示します。

負荷が高すぎる場合は、アプリケーションを減らすか、MAD パネルでバッファ サイズを増やしてください。



不連続性がある場合は、アプリケーションがオーディオ プロセッシングを停止している可能性があります。アプリケーションの設定を確認し、MAD Latency と Buffer size を調整してください。

5. MAD パネルとデバッグ グラフのスクリーンショット、RAVENNA/AES67 デバイスとファームウェアバージョン、必要に応じて追加のコメントをお送りください。
6. 終了したらグラフ ウィンドウを閉じて、MAD-DebugDisable.reg ファイルをダブルクリックしてください。このデバッグ グラフは電力を使用しています。

注: MAD パネルでパラメーターを変更すると、グラフには明らかに大きく変動する値が表示されます。

一部の調査では、サポート チームからデバッグ ログ セクション(左側のアイコン)を開くように要求される場合があります。

指示をお待ちください。調査が完了したら、必ずデバッグ モードを無効にしてください。



Version: XXXXXXXXXX
Click [here](#) to access MAD online documentation



Advanced Settings >>